

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 11 月 7 日 No38

生徒会の本気を見ました！



左の写真は赤い羽根共同募金を呼びかける生徒会役員の姿です。今年は2週間にわたって生徒会が中心になり朝の募金活動を行いました。雨の日も風が冷たい日も登校時間の8時30分過ぎまで毎日行っていました。途中で実力テストがありました。クラスマッチの朝練習もありました。特に3年生は練習の途中で体操服のまま、また、テストに向けた学習時間を削って募金活動行いました。

生徒の皆さんから24,499円もの大切なお金が集まりました。これはとても尊いことで

す。平成28年度生徒会の本気を見ることができました。

赤い羽根共同募金とはいったい何でしょう？またどういったことに使われるのでしょうか？

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年（昭和22年）に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

当初は戦後復興の一助として、戦争の打撃をうけた福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。その後、「社会福祉事業法（平成12年社会福祉法に改正）」という法律をもとに「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。そして70年たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

「中央共同募金会のホームページから」

共同募金会では、共同募金に寄せられた募金を、毎年、全国のおよそ5万3千件の地域福祉活動や草の根のボランティア活動支援活動に助成しているそうです。助成総額は、毎年160億円以上にも上るといふことです。

いよいよ進路選択の時



11月4日（金）3年生に対して進路説明会が行われました。福岡地区の私立の前期入試（2月3日）まで約90日、公立の一般入試（3月8日）まで約120日です。いよいよ進路選択の時です。ある人はこう言いました。「選ぶ選択肢が多いということは、それだけ捨てる選択肢も多いということだ」と。高校はいろんな学科・コースに分かれています。20年先（社会で活躍している）の自分の姿をイメージしながら、御家族で納得がいく進路選択を行ってほしいと願っています。そのための応援を学校では精一杯行ってまいります。

今日は立冬。暦の上では冬の始まりです。体調管理には十分に気を付け

